

## 令和4年度 ダイバーシティ推進センター女性研究者賞 実施要項

### 1. 目的

本要項は、奈良女子大学ダイバーシティ推進センター女性研究者賞規程に基づき、奈良女子大学、奈良工業高等専門学校及び武庫川女子大学（以下、「連携機関」という。）が連携して本事業を実施するにあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

### 2. 趣旨

連携機関が取り組むダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業の一環として、特に優秀な研究業績を挙げ、今後の研究の発展が期待される女性研究者を表彰するとともに、研究費を支援することにより、当該女性研究者自身とこれに続く次代の女性研究者の励みとすることで、連携機関に所属する女性研究者の研究力向上を図ることを目的として実施するものとする。

### 3. 応募条件

奈良女子大学、奈良工業高等専門学校または武庫川女子大学に所属する女性研究者のうち、特に優秀な研究業績を挙げ、今後の研究の発展が期待される者とする。

### 4. 応募期間

令和4年5月16日（月）～令和4年6月30日（木）15時（必着）

### 5. 応募方法

推薦書（様式1）と受賞候補者調書（様式2）を、所属機関の事務担当に電子データをメール添付にて提出するものとする。なお、推薦者として自薦も可能とする。

### 6. 選考委員会

受賞候補者の選考においては、各機関において選考委員会を設置するものとする。

### 7. 選考方法

選考は、以下の段階を経て行うものとする。

- （1）各機関に設置する選考委員会による受賞候補者の選出
- （2）ダイバーシティ推進センター運営委員会での審議を経て奈良女子大学長が受賞者を決定

### 8. 顕彰等

受賞者は各機関若干名とし、表彰状の授与と副賞の研究費(20万円)を支援する。

### 9. 授賞式

授賞式は、各機関の状況に合わせて実施するものとする。

### 10. 研究費の使用及び研究報告について

研究費は受賞年度内に使用するものとし、外国旅費は研究費の1割まで支援の対象とする。

受賞者は、受賞年度の翌年度の4月20日までに「研究活動報告書」（様式3、様式4）を提出するものとする。

### 11. 事務担当

本制度に係る事務の総括は奈良女子大学ダイバーシティ推進センターが行うものとし、各機関における広報、申請書の受付及び選考委員会に係る事務は、以下のとおりとする。

- (1) 奈良女子大学：ダイバーシティ推進センター
- (2) 奈良工業高等専門学校：総務課
- (3) 武庫川女子大学：男女共同参画推進室

## 12. その他

- (1) 審査結果の問合せには応じないものとする。
- (2) 提出書類に含まれる個人情報、厳重に管理し、本事業の実施にのみ利用する。
- (3) 本事業の効果を把握するため、受賞者には、本事業期間中（令和元年度～令和6年度）においてダイバーシティ推進のための取組へ可能な範囲で協力いただくものとする。
- (4) その他、本制度の実施に関し必要な事項は、ダイバーシティ推進センター運営委員会が定めるものとする。

## 令和4年度 ダイバーシティ推進センター女性研究者賞 推薦書

令和4年 月 日

下記の通り、ダイバーシティ推進センター女性研究者賞受賞候補者を推薦します。

## 【推薦者】

氏名	(自署)
所属・職	
連絡先	TEL : E-mail :

## 記

## 【候補者】

フリガナ			
氏名			
所属		職名	

【推薦理由】 (欄が不足する場合は、適宜追加してください。ただし本ページを含めて2ページ以内にご記入ください。)

--

※ 推薦書作成者は、候補者の研究業績をよく理解している者とし、推薦理由として、推薦対象となる業績や将来性について記述してください。推薦者として自薦も可能とします。

## 令和 4 年度 ダイバーシティ推進センター女性研究者賞 受賞候補者調書

令和 4 年 月 日

I. 履 歴			
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
氏名			
所属 (機関・部局)		職	
連絡先	TEL:		
	E-mail:		
学 歴			
年月	事項		
1977 年 3 月 1977 年 4 月 1979 年 3 月	【記入例】 大学卒業から記入すること。 ○○大学○○学部○○学科卒業 ○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程入学 ○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程修了		
1987 年 3 月	(学位、論文名) 博士 (○学)・○○大学、○○○○に関する研究		
職 歴			
年月	事項		
1979 年 4 月 1981 年 4 月 1987 年 11 月 2010 年 10 月	【記入例】 ○○株式会社入社 ○○大学○○学部助手 ○○大学○○学部講師 ○○大学○○学部准教授 (現在に至る)		
II. 研究業績 (各業績について適宜, 行の追加可)			
1. これまでの業績のうち, 特記すべき研究論文・著書について記載してください。			
論文等題目	掲載誌 (巻・号・頁)	著者名 (責任著者に*を付けてください。)	
(例) ○○○○	○○○○ (2・3・pp88-99)	奈良花子*, 大阪花子	

2. 学会発表, 国際会議等の基調講演, 招待講演 (これまでの業績のうち, 特記すべきものについて記載してください。)			
題名	発表年月	発表学会等名	特記事項
(例) ○○○○	2019. 9	国際○○会議	招待講演
3. 特許 (出願公開前の特許については支障のない範囲で記入してください。未登録の特許の場合, 「登録番号」は記入不要です。)			
発明名称	出願番号	登録番号	発明者
(例) ○○に関する○○	特願 2018-X	特許第○○号	奈良花子 (奈良女子大学), 大阪太郎 (○○株式会社)
4. 研究資金獲得実績 (過去5年間の業績について記載してください。機関内公募研究費についても記入可能です。)			
研究課題名	研究期間	資金種別配分機関名研究費総額	共同研究者 (氏名及び機関名)
(例) ○○に関する研究	2019. 4. 1~ 2021. 3. 31	共同研究費 ○○株式会社 5, 000 千円	大和太郎 (奈良女子大学), 名古屋一郎 (○○株式会社)
5. その他特記すべき研究業績 (受賞歴等, 上記に該当しない業績を記入してください。)			

<p>Ⅲ. 支援を受けたい研究内容 (欄が不足する場合は適宜追加可、ただし本ページを含めて 2 ページ以内を書いて下さい。)</p>
<p>1. 研究課題名</p>
<p>2. 研究目的</p>
<p>3. これまでの研究内容 (「Ⅱ 研究業績」の内容及び国内外の関連する研究分野の動向と関連付けて説明してください。出産・育児等のライフイベントにより研究中断の時期がある場合にはその旨記載してください。)</p>
<p>4. 今後の研究計画 (「2. 研究目的」を達成するための具体的な研究計画を書いて下さい。)</p>

## 令和4年度「ダイバーシティ推進センター女性研究者賞」研究活動報告書

受賞者	氏名			
	所属・職			
	連絡先	TEL		
		e-mail		

研究活動報告（800 字～1000 字）

--

## 令和 4 年度実施経費報告

配分額		千円
使途内訳		
区分	金額 (千円)	内 訳
研究消耗品費		
研究図書・資料購入費		
旅費		
謝金		
その他		
合 計		